

器具



受配電盤メーカーや機械メーカー向け市場に確固たる顧客基盤と全国規模の販売ネットワークを有しており、配線用遮断器、漏電遮断器、電磁開閉器や操作表示機器など国内トップクラスのシェアを誇る製品群を展開しています。さらに、海外主要規格に適合する製品ラインアップを拡充しており、グローバル展開を進める顧客への対応力も強化しています。今後、高い成長力が見込まれる中国を中心としたアジア市場向けへの新製品を拡大することで、事業拡大を図っていきます。

(単位: 億円)

	2009年度	2010年度	2011年度(予想)
売上高	449	655	700
営業利益	-47	29	40



2010年度の業績概況

受配電・制御機器分野の市況は、国内市場においては、主力である機械メーカー向け市場が中国を中心としたアジア向け外需の主導により大きく伸長するとともに、受配電盤メーカー向け市場も好調に推移しました。また海外市場においても、中国を中心とするアジア向け需要が大きく拡大しました。この結果、売上高は、前期に比べ大幅に増加しました。

営業損益に関しては、売上高の増加に加え、2009年度からの事業構造改革によって、損益分岐点比率が大幅に引き下げられ、損益体質が強化された結果、前期に比べ大幅な増益となりました。

2011年度の市場環境

市場環境は、東日本大震災の影響を受ける国内経済や、新興国の持続的な経済成長などの先行きに不透明感があります。

しかし、全般的には、国内市場では中国・アジア向け外需が牽引し、顧客である機械メーカーの輸出・生産は2010年度後半からの高水準を維持するものと予想されます。また、海外市場にお

いては、中国をはじめアジア市場の好調は続くものと予想されます。

2011年度の方針・戦略

国内市場においては、資本提携関係にある仏シュナイダーエレクトリック社の特長ある製品を品揃えに加え、受配電分野の顧客開拓をさらに強化します。また、これまで強みとしてきた機械メーカー向け市場においては、エンドユーザー開拓に向けたスベックインやマーケティング活動を行う専任部門を設置し、さらなる対応力の強化を図ります。

海外市場においては、中国を中心としたアジア市場での売上拡大をめざします。具体的には、富士電機(中国)社や富士電機アジアパシフィック社などの販売子会社との連携を深め、市場ニーズにマッチした戦略機種種の投入により拡販を図ります。

また、銀・銅など素材価格の高騰に対応し、開発段階にまで踏み込んでコストダウンを図ることにより、収益体質をさらに強化していきます。